



創る、巡る、贈る



福島県大熊町

2025

広報おおくま

11

No.640

— 今月の表紙 —

大熊町敬老会
(掲載記事2ページ)

特集 / 大熊町敬老会 / 決算報告

まちの話題 8 ページ | お知らせ 16 ページ | すこやかライフ 30 ページ

令和7年度の大熊町敬老会が、9月13日に大野駅西の産業交流施設「CREVAおおくま」で開催されました。

敬老会が規模を縮小せず、通常どりの形で開かれるのは、令和元年度にスパリゾートハワイアンズで開催されて以来のことです。また、町内での開催としては、東日本大震災後、初めての通常開催となりました。

昨年度までは、新型コロナウイルス感染症への対応や町内施設規模の関係で、参加者数を制限しての実施となっていました。

今回は、数年ぶりに通常開催となり、県内外から70歳以



上の225人がふるさと・大熊町に集まりました。

今年9月1日現在、町の70歳以上の方は2,224人(男性987人、女性1,237人)です。

令和7年度敬老会では、町内最高齢である高松トヨ子さん(101歳・大正12年生まれ)と、88歳を迎えた「米寿」の53人に記念品が贈られました。

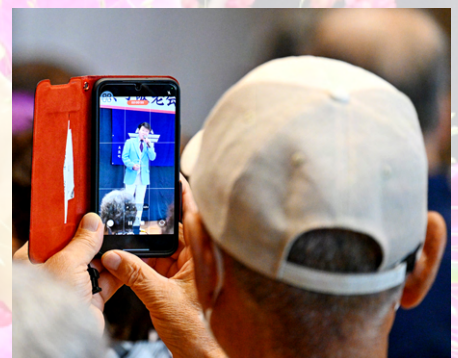
式典では、吉田淳町長が高齢者の皆さんに祝辞を述べ、老人クラブ連合会の高野一郎会長が謝辞を述べました。

また、結婚から50年を迎えた8組のご夫婦に対し、「しあわせ金婚夫婦表彰」が、福島県老人クラブ連合会と福島民報社から贈られました。

午後には、歌手・三善英史さんによる歌謡ショーが行われ、懐かしい名曲や楽しいトークに合わせて手拍子を打ちながら楽しむ参加者の姿があちこちで見られました。



大熊町写真館



2024 年度 決算報告

2024 (令和6) 年度の大熊町一般会計と特別会計の決算が、9月に開催された第3回町議会定例会で承認されました。決算の状況をお知らせします。

問総務課 財政係

歳出

424億3,142万6千円

(前年度比113.5%)

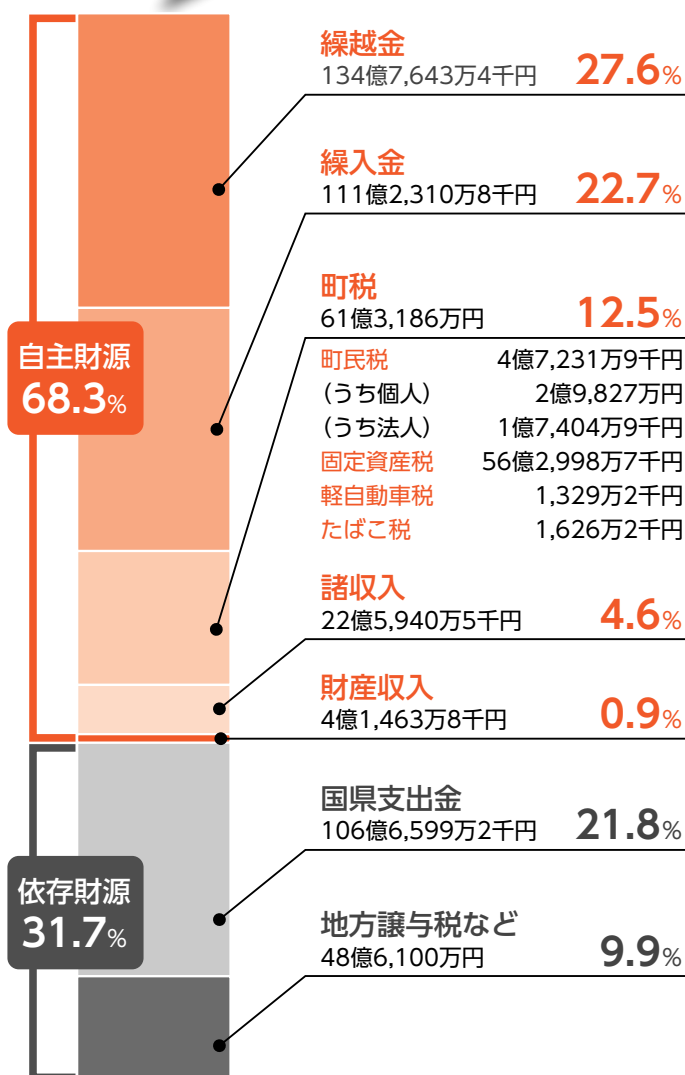
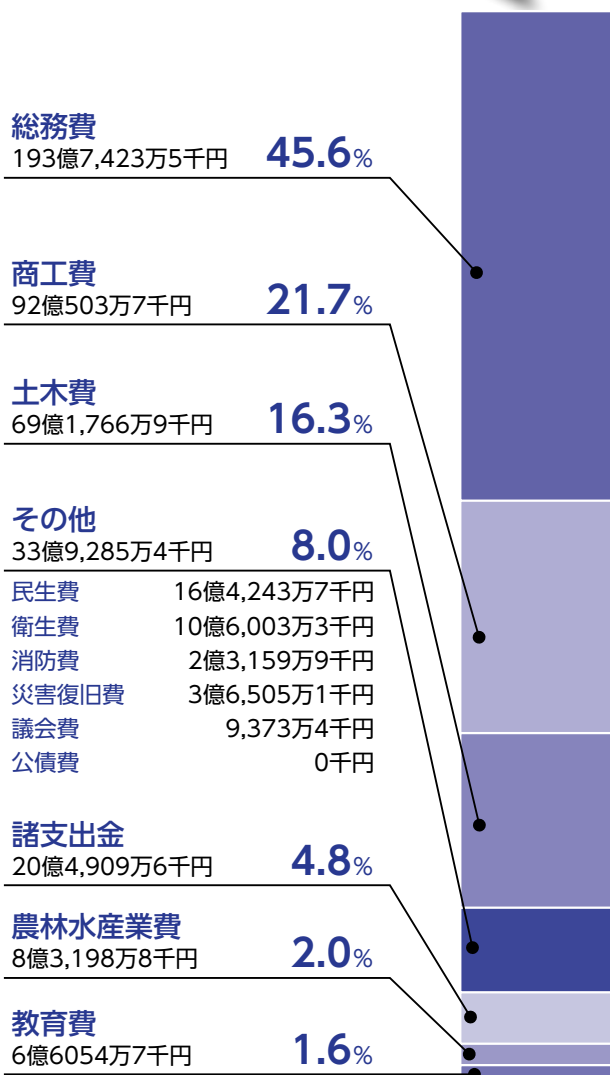
総務費31億1,910万8千円の増額、農林水産業費11億3,250万1千円の減額、商工費55億9,187万4千円の増額、教育費30億7,587万7千円の減額など、全体では50億3,384万円の増額となりました。

歳入

489億3,243万7千円

(前年度比95.3%)

町税6億5,661万6千円の増額、繰入金57億3,546万1千円の減額、繰越金47億7,320万6千円の増額、国庫支出金19億8,502万3千円の減額などにより全体では24億158万3千円の減額となりました。



一般会計歳入歳出決算

一般会計の歳入総額は489億3,243万7千円、歳出総額は424億3,142万6千円となりました。歳入歳出差引額は65億101万1千円で、そのうち令和7年度に繰り越した事業の財源61億8,633万3千円を除いた実質収支額は3億1,467万8千円となり、1億7千万円を基金繰り入れし残額を令和7年度に繰り越しました。

令和5年度の歳入歳出決算額と比べ、決算総額は歳入約24億の減、歳出約50億の増となっています。これは産業交流施設及び大野駅西商業施設の整備など多くの事業を令和6年度に施行したことによるものです。

主な事業と決算額

総務費(人事、企画、財政、戸籍など他部門に分類されない事業の経費)	
東日本大震災復興基金費	64億4,231万7千円
大熊町帰還環境整備交付金基金費	62億9,452万円
特定原子力施設交付金(事業運営)基金費	12億円
特定原子力施設交付金(維持補修)基金費	10億8,572万1千円
庁内行政ネットワーク事業	3億9,425万1千円
特定原子力施設交付金(施設整備)基金費	3億1,249万9千円
総務一般経費	2億7,960万1千円
防犯対策事業	2億7,789万3千円
ゼロカーボン推進事業	2億3,417万4千円
民生費(児童福祉、高齢者福祉、障がい者福祉、国民年金などの経費)	
自立支援事業	2億8,612万3千円
介護保険事業特別会計繰出金	1億8,105万4千円
児童手当支給事業	1億7,662万5千円
後期高齢者医療費	1億2,684万7千円
国民健康保険特別会計繰出金	1億43万円
衛生費(母子保健、廃棄物処理、公害対策などの経費)	
環境衛生費広域負担経費	5億3,448万2千円
環境一般経費	1億1,645万9千円
農林水産業費(農業、林業、水産業に要する経費)	
農地防災整備事業	3億6,059万4千円
農地費一般経費	1億393万2千円
商工費(商工業の振興、観光振興などの経費)	
産業交流施設整備事業	42億9,261万9千円
大野駅西商業施設整備事業	22億4,935万7千円
大野駅西施設整備事業(継続費通次繰越)	15億9,925万8千円
交流ゾーン管理事業	2億8,842万4千円
産業交流施設整備事業(継続費通次繰越)	2億6,159万9千円

土木費(道路維持、都市計画、復興拠点整備などの経費)	
復興拠点整備事業(継続費通次繰越)	50億1,082万9千円
道路新設改良事業	7億7,989万4千円
住宅促進事業	3億416万6千円
道路維持事業	2億4,906万7千円
消防費(消防、防災事業などの経費)	
常備消防費一般経費	1億8,057万4千円
防災対策一般経費	2,742万2千円
教育費(学校教育、生涯学習、スポーツ振興などの経費)	
小学校管理費	1億4,604万4千円
社会教育複合施設整備事業	8,257万4千円
災害復旧費(大雨、地震などによる被害の復旧に要する経費)	
(繰越明許)農地等施設災害復旧事業	1億9,568万5千円
農地等施設災害復旧事業	1億3,173万4千円
諸支出金(いずれの歳出科目にも分類されない特別会計への繰出金など)	
工業団地造成事業特別会計繰出金事業	16億2,589万3千円
特定環境保全公共下水道事業特別会計繰出金	2億3,191万8千円

<用語の解説>

自主財源……町税や手数料など町が自らの収入とすることが
できる財源

依存財源……国や県の意思により定められた額を交付され
たり割り当てられたりする財源

繰入金……一般会計と特別会計、基金等の会計間でのお
金の移動のこと

国県支出金…町が行う特定の事業に対し、国や県から交付
されるお金

地方譲与税…国税として徴収したお金を、定められた割合
で地方自治体に対して譲与するお金

継続費通次…複数年度に渡る事業の年度ごとの事業費のう
ち、年度内に支出が終了しない経費を翌年度
以降に繰り越すこと

繰越明許……何らかの事情でその年度内に支出が終了しな
い経費を、予算で上限額を定め翌年度1年間
に限り繰り越すこと

特別会計歳入歳出決算

特別会計とは、特定の事業を行う場合に一般会計と区別して 経理する会計で、大熊町には以下の特別会計があります。

区 分	歳 入	歳 出	差 引
坂下ダム施設管理事業	8,533万6千円	6,528万4千円	2,005万2千円
国民健康保険	21億7,906万3千円	20億8,876万9千円	9,029万4千円
奨学資金貸与	911万1千円	896万3千円	14万8千円
特定環境保全公共下水道事業	2億3,596万7千円	2億3,596万7千円	0円
農業集落排水事業	1億8,140万7千円	1億8,140万7千円	0円
住宅団地造成事業	4千円	4千円	0円
工業団地造成事業	31億7,083万1千円	30億5,999万2千円	1億1,083万9千円
介護保険事業			
・介護保険事業勘定	11億4,744万6千円	11億783万2千円	3,961万4千円
・介護サービス事業勘定	692万6千円	675万9千円	16万7千円
後期高齢者医療	4,557万円	4,513万7千円	43万3千円
霊園管理事業	1,405万円	1,404万円	1万円

町債の状況

町の借金である町債は、令和6年度末の残高はありません。

基金の現状

基金とは、特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立ててまたは定額の資金を運用するために設けられる資金をいいます。

財政調整基金とは、突発的な災害や急を要する経費に備えるために設置される基金です。地方自治法の規定により、毎年度の決算剰余金のうち2分の1相当額を積み立てています。

区分	令和5年度末現在高	令和6年度中		令和6年度末現在高
		増 加	減 少	
財政調整基金	99億5,589万3千円	6億6,610万5千円	9億6,056万3千円	96億6,143万5千円
その他の基金	898億8,313万8千円	143億7,409万9千円	91億5,108万1千円	951億615万6千円
特別会計の基金	14億6,633万1千円	2億1,937万5千円	503万円	16億8,067万6千円
合 計	1,013億536万2千円	152億5,957万9千円	101億1,667万4千円	1,064億4,826万7千円

健全化判断比率 資金不足比率

実質赤字比率、連結実質赤字比率、将来負担率は算定されませんでした。
公営企業資金不足率は、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、住宅造成事業(住宅団地、工業団地)のいずれの特別会計も算定されませんでした。

	大熊町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質公債費比率	-1.00%	25.00%	35.00%

国民健康保険 歳入歳出決算

国民健康保険加入状況(2024年度末)

- ・加入者数…2,870人
- ・町の総人口…9,909人
- ・加入率…29.0%(前年度比-0.8%)

国民健康保険は、社会保険などに加入していない人が加入する医療保険で、地域保険と位置づけられ市町村ごとに独立した特別会計を設けて運営しています。

町の国民健康保険は、加入者(被保険者)の高齢化や医療の高度化などにより、医療費が年々増加しています。

2024(令和6)年度の決算の状況をお知らせします。

問健康保険課 国保年金係

歳出 20億8,876万9千円

歳出の主なものは、国保が医療機関などに支払う医療費などで14億4,156万円となり、全体の7割近くを占めました。

1人当たりの医療費は昨年度から902円増加し492,481円となり、福島県内で5番目に高い水準でした。

歳入 21億7,906万3千円

歳入の主なものは、国・県からの補助金です。本来、加入者の皆さんに負担していただく国保税の減免に伴う補助と、医療費に対しての補助を国と県から受けています。2つの補助金を合わせると19億3,961万4千円となり、収入のおよそ9割を占めています。

医療費など 14億4,156万円 69.0%

保険で給付した医療費、出産・葬費など

国民健康保険事業費納付金 3億8,906万1千円 18.6%

県内の医療費に配分するために各市町村から支払うもの

基金積立金 1億8,824万2千円 9.0%

前年度会計から出た余剰金

総務費 3,926万円 1.9%

国保事業の運営にかかる費用など

諸支出金 1,667万円 0.8%

国や県の補助金を精算した際、還付が発生した場合の償還金

保健事業費 1,397万6千円 0.7%

被保険者の健康増進のための事業費

県補助金 17億6,631万6千円 81.1%

主に医療費に対しての補助金

国庫補助金 1億7,329万8千円 8.0%

国保税・医療費に対しての補助金

他会計繰入金 1億3,864万8千円 6.4%

一般会計からの法定内繰入

繰越金 8,170万6千円 3.7%

前年度からの繰越金

その他 1,909万5千円 0.8%

国保税、財産収入、諸収入、使用料・手数料

2024年度の国民健康保険特別会計の決算は、歳入が21億7,906万3千円、歳出が20億8,876万9千円でした。歳入歳出の収支差し引き9,029万4千円を2025(令和7)年度へ繰り越しました。

1人当たり医療費は前年度に比べ増加しており、高齢化などにより今後も伸びることが予想されます。

これからも町民の皆さんに安心して医療機関を受診していただけるよう、国保財政の健全な運営を図っていきます。

皆さんも健康づくりに取り組んで、医療費の増加の抑制にご協力をお願いします。年1回は健康診断を受診し、病気の早期発見・早期治療に努めましょう。



大熊の利点を企業にセールス 福島県企業立地セミナー



参加企業にプレゼンする吉田町長

福島県主催による企業立地セミナーが9月1日、帝国ホテル東京で開催されました。

県内自治体によるショートプレゼンが行われ、当町は吉田淳町長が大熊中央産業拠点や大川原地区の西工業団地を説明。

約150の参加企業に大熊町内への立地をするメリットや多彩な補助メニューを紹介しました。

また、当セミナーには内堀雅雄福島県知事も出席し、県内に立地した企業とのトークセッションも行われました。

町内の新たな6次産業施設を知事が視察

地元産トマトやレタスの加工現場も見学 FUN EAT MAKERS in Okuma

今年6月に大熊中央産業拠点にオープンしたFUN EAT MAKERS in Okumaを、内堀雅雄福島県知事が9月4日に視察しました。知事の視察には、町長も同行し、菅原施設長から設備や栽培している植物についての説明を受けました。

この施設では、トマトやレタスを自家栽培し、それらの野菜を販売、施設内レストランでの提供までを一貫して行っています。いわゆる「6次産業」とは、農業(1次産業)に加えて、加工(2次産業)、販売やサービス(3次産業)までを一体で担う取り組みで、地域活性化の新たな形として注目されています。

施設では、温室設備を使って野菜が育てられており、知事と町長は興味深そうにトマトやレタスの栽培状況を見学しました。

知事は昨年、町内の大学連携支援センターを訪れており、今回の視察もその継続として、町の産業や教育との連携の可能性について意見を交わしました。



施設長から説明を受けた内堀知事と吉田町長

新たな目線で町に問う 大熊町子ども議会



一般質問した生徒代表

大熊町子ども議会が10月8日に開かれました。子ども議会が開催されるのは東日本大震災前の2010年9月以来です。

議員として、学び舎ゆめの森の後期課程生徒12人が議場に登壇。このうち5人が町をよりよくすべく、町内の交通に関することや企業・観光客の誘致にかかわる一般質問を投げかけました。

生徒らは子ども議会の開催に向けて9月議会定例会を傍聴し、町職員へのヒアリングも行いました。

当日参加した生徒は「町の回答によって自分の視野が広がった。さらに町政に関する興味が湧いた」と感想を述べました。

今回の子ども議会の質問の詳細は大熊町議会だより11月号に掲載されます。

図書館からはじまるまちづくり

瀬戸内市民図書館 初代館長・嶋田学氏が講演



嶋田氏の講演に耳を傾ける参加者ら

岡山県瀬戸内市民図書館の初代館長である嶋田学氏が9月5日、町役場で「図書館を場とした住民協働のまちづくり」をテーマにした講演会を開催しました。町内外から、まちづくりに関心を持つ46人が参加し、図書館を核としたまちづくりに耳を傾けました。

また、講演会終了後に座談会も行われ「私たちがしたいこと、できること」をテーマに、講演会で学んだことや日ごろの活動から学んだことをグループで意見交換しました。

開催にあたり、町図書館ボランティア11人が運営協力しました。

新たな道に復興のシンボル植える 大東文化大生植樹

今年6月10日に開通した国道6号と大川原復興再生拠点・県道35号を結ぶ町道東67号線で、9月2日、大東文化大学の学生たちが八重桜の品種「はるか」11本を植樹しました。

この植樹活動は、大東文化大学と福島民友新聞社の共同企画として実施されたもので、学生たちが9月1日から3日まで行った東日本大震災の被災地研修の一環として、郡内を訪れた際に行われました。

「はるか」は、福島県の復興のシンボルとして知られています。



植樹した「はるか」の前で記念撮影に収まる学生ら(福島民友新聞社提供)

ありがとうございます 連合東京西北ブロック地域協議会から思い受け取る

9月5日、連合東京西北ブロック地域協議会の皆さまが来庁され、支援金をご寄付くださいました。

同協議会は、東京都内で働く勤労者によって組織された労働組合「連合東京」に所属する団体の一つです。

当日は、役場にお越しになる前に、ネクサス

ファームおおくまでボランティア活動にもご参加いただきました。

イチゴ用の化粧箱を作る作業や、「ランナー」と呼ばれるイチゴ苗から伸びるツタの切り取り作業などに熱心に取り組んでいただきました。

心温まるご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



1 支援金を受け取る吉田町長(右) 2・3 ネクサスファームでボランティア作業をする会員ら

火災多発時期前に士気を高める 消防団秋季検閲式

大熊町消防団の秋季検閲式が9月21日、学び舎ゆめの森グラウンドで行われました。

通常点検で吉田淳町長や来賓の検閲を受けた後、規律訓練、分列行進で統率の取れた動きを



団員の点検を行う吉田町長ら

披露しました。

吉田町長は「これからも町民の生命と財産を守るため、より一層の精進をお願いしたい」と講評・訓示しました。

席上、各種表彰者が紹介されました。このうち、町消防団長表彰の受章者は次のとおりです。

- 〈功績章〉 川木 敏行(第三分団長)
佐藤 信康(第一副分団長)
猪狩雄一郎(第三分団班長)
- 〈精績章〉 嶋貫日出喜(第二分団員)
- 〈精勤章〉 小山 智博(第三分団員)
田村 知広(第三分団員)

会津とのつながりをより深める 会津大と包括連携協定締結

町と公立大学法人会津大学との包括連携協定の締結式が9月30日に行われました。

本協定は、産業および教育の振興、人材育成、復興創生の3点を柱に結ばれました。

吉田町長は「会津大学との連携により、町民全体の教育環境の創出、町内で活動する企業の振興など、大熊町のさらなる発展につながるが大いに期待される」、東原理事長は「会津大学の学術・教育の専門性や人材育成のノウハウを活かし、大熊町との連携・協力を一層深め、大熊町の復興と持続的な地域づくりに寄与したい」と述べました。



協定書を交わす吉田町長と東原理事長(右)

山林火災を想定し広域連携 大規模火災対応訓練

10月3日、大川原地区西工業団地において、山林火災の発生を想定した広域消火訓練が実施されました。



西工業団地周辺で訓練する各地域の消防職員ら

本訓練は、福島県および双葉消防本部の主催により行われ、現場周辺を帰還困難区域に見立て、実践的な訓練が展開されました。

当日は、双葉消防本部をはじめ県内12の消防本部に加え、陸上自衛隊、宮城・山形・新潟・栃木の4県から緊急消防援助隊が参加。多機関による連携体制の強化を目的に、迅速かつ的確な対応を図るための訓練が行われました。

訓練では、山林火災における基本的な消火活動に加え、帰還困難区域を想定した放射線防護訓練、消防ヘリコプターによる空中消火訓練など、多様な状況に対応する実践的なプログラムが実施されました。

祝 おめでとうございます 佐久間文子さん、バドミントンで世界一に

9月7日～14日にタイで開催されたバドミントン世界シニア選手権で、佐久間文子さんが見事、世界一の栄冠を手に入れました。

佐久間さんは、75歳以上の女子ダブルスで金メダル、男女混合ダブルスでも銅メダルを獲得するという素晴らしい成績を収めました。

帰国後の9月19日には、2つのメダルを携えて吉田淳町長を訪ね、今回の結果を報告。町役場の職員や学び舎ゆめの森の子どもたちから、盛大な歓迎を受けました。

佐久間さんは、「世界一の表彰台からの景色

は、今までとまったく違って見えた。日本に帰ってから、ようやく“世界一になった”という実感がわいてきました」と、喜びを語りました。



世界一の偉業を報告し、笑顔で迎えられる佐久間さん(左)

「あったらいいな」をカタチに！ 第2回ゆめかなプロジェクトを開催

9月20日・21日の2日間、子ども向けワークショップ「第2回ゆめかなプロジェクト」が開催されました。

このプロジェクトは、町と協定を結ぶ立命館大学と福島大学の協力により実施されており、子どもたちの「夢(ゆめ)」を「かなえる」ために、大学生たちがサポートするものづくり体験型



手作りのブランコで遊ぶ様子

ワークショップです。

8月に開催された第1回では、子どもたちが「町にこんな遊具があったらいいな」とアイデアを出し合い、大学生たちが形や仕組みを一緒に考えながら設計を進めました。そして迎えた第2回では、考案したブランコなどの遊具を、子どもたち自身の手で制作。完成した遊具は、役場前広場や大川原の住宅周辺に設置され、その場で思いきり遊ぶ姿が見られました。

自分たちの手で「夢」を形にする体験を通して、子どもたちはものづくりの楽しさや、協力することの大切さを学び、笑顔あふれる2日間となりました。

学生たちが町の未来を提案 町補助事業プロジェクト報告会を開催

町の補助事業として2020年から続く「学生企画立案プロジェクト」の令和7年度報告会兼コンテストが9月21日、CREVAおおくまで開かれました。会場には町民や関係者が訪れ、若者たちの熱意ある発表に耳を傾けました。

このプロジェクトは、大学生など若い世代が大熊町の課題に向き合い、地域の未来を考えることを目的としたものです。今年度は高校生と大学生が6チームに分かれ、それぞれにテーマを決めて活動を行ってきました。

報告会では、各チームが自分たちの企画内容や調査結果を、スライドや資料を用いて分かりやすく発表しました。発表後には、来場者や審

査員との活発な質疑応答が行われ、実現可能性や課題の深掘りについて意見が交わされました。

コンテスト形式で行われた今回の報告会では、「防災」をテーマに取り組んだチームが最優秀賞に選ばれました。



立案したテーマを発表する学生ら

秋空に笑顔広がる 教育長パークゴルフ大会

大熊町教育長杯パークゴルフ大会が9月6日、広野町二ツ沼総合公園パークゴルフ場で行われました。町民の健康維持と各地区間の親善を図ることを目的に開催されており、恒例の行事として親しまれています。県内外から91人の町民の方が参加。参加した方が交流を深めながら、日ごろの練習の成果を発揮し、和やかな雰囲気プレーする姿が見られました。

競技終了後には団体賞や個人賞などの表彰が行われ、発表の際には会場が大いに盛り上がりました。



競技前の集合写真に収まる参加者ら

演劇がつないだ日米の絆

テイラー・アンダーソン記念基金から本棚の寄贈



クマの本棚をお披露目の様子

学び舎ゆめの森で9月11日、テイラー・アンダーソン記念基金様から本と本棚の寄贈を受けました。

同基金は東日本大震災の際に宮城県で津波災

害の犠牲となってしまった英語教師テイラーさんのご遺族が、ご本人の「米国と日本の架け橋になる」という遺志を受け継ぎ設立したものです。

ゆめの森へのご支援は3月の演劇「きおくの森」東京公演に基金の関係者が観覧していたことがきっかけでした。

クマに見立てられた本棚を受け取った児童代表が「私たちのために素敵な本棚を寄贈してくださり、ありがとうございます。大熊町らしいデザインで、素敵だなと思いました」と感謝の言葉を述べました。

町代表野球初のベスト16 第19回市町村対抗野球

福島民報社が主催する第19回市町村対抗軟式野球大会が9月13日、福島市のあづま球場で行われました。初戦は中島村と対戦し、10対6で勝利を収めました。

町代表チームは初戦の勢いのまま同月21日に小野あぶくま球場で行われた2回戦で泉崎村を7対5で下し、3回戦に駒を進めました。同月27日に本宮市のしらさわグリーンパーク野球場でいわき市と対戦し、ベスト8を目指し最後まで粘り強く戦いましたが、あと一步届かず

敗戦となりました。町代表チームは初のベスト16に、胸を張りました。



初のベスト16になった町代表選手

来年のオープン目指し祈願 原地区商業施設起工式

9月25日、下野上一団地内の原地区に建設される商業施設の起工式が執り行われました。

式典には、吉田淳町長をはじめ、施設の運営を担うマルトホールディングス株式会社の安島浩社長、関係事業者らが出席し、工事の安全と順調な進行を祈願する神事が行われました。

吉田町長は式辞の中で、設計者の山口建築設計事務所、施工業者の庄司建設工業、運営会社のマルトホールディングスによる尽力により、予定より早い開業が見込まれることへの感謝を述べました。

また、マルトの安島社長は「施設の開業日は当社の創業日でもあり、同じ日に大熊町で新たな店舗をオープンできることを大変うれしく思います」と述べ、地域に根ざした店舗づくりに向けた強い意気込みを語りました。

新たに建設される商業施設には、生鮮食品を含む食料品の売り場をはじめ、医薬品、百円均一ショップなどが設けられる予定です。

さらに、地域住民に向けた商品の配達サービスも計画されており、日常の買い物をより便利にサポートする施設として期待されています。

施設のオープンは来年10月2日を予定しています。



工事の安全を願い笑顔を見せる吉田町長と安島社長(左)



原商業施設パース図

要望活動

原子力損害賠償に係る要望書

町は9月2日、原子力損害賠償紛争審査会に対し今後の審議に向けた要望を行いました。吉岡健太郎副町長と仲野剛議長から大村敦志会長へ要望書が手渡されました。

原子力損害賠償紛争審査会への要望

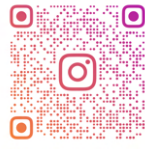
1. 適時適切な指針の見直しについて
2. 被害者の視点に立った誠実かつ迅速な賠償の対応について
3. 帰還や避難生活の長期化等に伴う賠償について
4. ALPS処理水の処分にに関する風評被害への賠償について



大村会長(右)へ要望書を手交する吉岡副町長と仲野議長



OKUMA_IJUTEIJU
移住に関する
情報



OKUMA_MACHIZUKURI_KOSHA
まちづくり公社
に関する情報

復興支援員のぞいてみよう! ライフ

vol.2



コミュニティ再構築や町内住民の見守り・ケア、地域活性化支援などを通して、東日本大震災からの復興を手伝ってくれている復興支援員。そんな支援員の日々の業務をちょっとのぞいてみませんか？今回は角田涼太さん、田中利駒さんをご紹介します。



角田 涼太

【受け入れ企業】

一般社団法人おおくままちづくり公社

【担当】

地域におけるにぎわいや交流機会の創出

【活動内容】

皆さまこんにちは。復興支援員の角田涼太です。一般社団法人おおくままちづくり公社でSNSでの大熊町の魅力発信や特産品・グッズをイベントなどで販売を担当しています。心掛けていることは、SNS発信も販売事業も大熊町の復興している様子をしっかりと自分の言葉でお



町のグッズをPRする角田さん

伝えできるようにしています。これからも大熊町の良さを発信して多くの方に知ってもらえるように頑張りますので、皆さまよろしく願います。



田中 利駒

【受け入れ企業】

一般社団法人おおくままちづくり公社

【担当】

移住定住促進の取り組み

【活動内容】

大熊町移住定住支援センターで移住定住支援促進を担当しています復興支援員の田中です。

大熊町への移住・定住を促進するため、主に移住を検討されている方の相談対応を行い、住まいや補助金等の支援制度の



来所者に町の補助メニューを紹介する田中さん(左)

紹介をしています。移住定住に関するイベントで、町内の見学ツアーや移住フェアに出展して、町外の方々にも大熊町を知ってもらい、大熊町の一員になってもらえるように日々活動しています。



入居者紹介 OIC ってどんなところ？利用者インタビュー

2022年7月に開所した大熊インキュベーションセンター(OIC)には、現在120社以上の企業が入居しています。大企業から起業準備中の大学生までが入居し、業界・業種もさまざま。毎日にぎわっているOICの魅力をお伝えするため、OIC広報担当が公式HP「OIC入居者紹介」の中から「どのような企業が利用しているのか」「どのような人と会えるのか」などをご紹介します。

Cell-En(セレン)

今回は、入居企業インタビュー第53社目として、Cell-Enをご紹介します。COOの山口直美さんにお話を伺いました。

Cell-Enは、「微生物発電」という技術に取り組んでいるスタートアップ企業です。2023年に設立され、現在はこの新しい発電方法を実用化するために研究開発を進めています。

微生物発電とは、土の中にいる微生物が、有機物(生ごみや落ち葉など)を分解する際に発生するエネルギーを電気として利用する技術です。Cell-En(セレン)の微生物発電装置は、使う微生物や栄養分も、その地域の土や農業・食品廃棄物を活用するため、「地元でつくった電気を、地元で使う」ことができるのが特徴です。

災害時や電気が届きにくい場所でも使える、環境にやさしい移動可能な電源元として、地域に役立つ技術を目指しています。

山口さんにとって福島県は、幼稚園から小学校にかけてを過ごした「故郷」でもあり、穏やかな海沿いの風景に懐かしさを感じることもあるそうです。

震災前に大熊町を訪れたことはなかったものの、今の町の姿には大きな可能性を感じており、「さまざまな企業が集まり、活気があって新しいものを受け入れやすい。スタートアップである私たちが、地域の皆さんと一緒にまちづくりをしていける環境があると感じています」と語る山口さん。

また、「地域の微生物と農業廃棄物からエネルギーを生み出し、災害時にも電気を絶やさないこと。それが私たちの目指す『町のエネルギー』です。安心・安全を届けるために、ぜひ活動に期待して応援していただけたらうれしいです」と、力強いメッセージも寄せてくれました。



おおみたから社中

次にご紹介するのは、合同会社おおみたから社中です。代表の奥山さんにお話を伺いました。

奥山さんは赤十字の災害救護に携わってきた元看護師。東日本大震災での被災経験から、「浜通りで役に立ちたい」との思いを持ち、2023年におおみたから社中を創業しました。

現在、広野町で「奥山鍼灸施術室」を運営しており、自由診療に加えて医療保険を用いた訪問鍼灸にも対応。肩こりや頭痛、腰痛、坐骨神経痛、脊柱管狭窄症など、幅広い症状に寄り添っています。大熊町では訪問施術を中心に活動を始めており、患者さんのご自宅や企業、事務所等での施術を行っています。将来的には大熊町内で施術拠点を整えることを目指しています。

患者さんへのよりよいサポートのため、普段から学びを大切にしている奥山さん。おすすめの本として『四毒抜きすのすめ』を挙げ、食生活を変えることで体が劇的に変わると話します。さらに「日本人の素養を知ることが大切」として歴史や文化に関する動画からも学びを得ています。

社名に使用されている「おおみたから」には「日本人は国の宝である」という意味があります。「日本人による日本人のための活動を」と語る奥山さんにとって、大熊町は「新しい日本を創生していく場」。地域に根ざした鍼灸を通して、町の暮らしを支えていきたいと力強く話していました。

施術はどなたでも受けられるとのこと。健康や体調に関心のある方は、ぜひ一度ご相談ください。



OICはどなたでも無料で利用できます。居合わせた人と話したり、本や新聞を読んだりすることができる交流スペースから、静かな場所で作業に集中したいときに利用できるコワーキングスペースまで、さまざまな部屋があります。ぜひお気軽にご来館ください！

大熊町からの

お知らせ



会場 対面 日時 費用 持ち物 申し込み方法 申し込み期限 問い合わせ先 電話番号 FAX ファクス メールアドレス ウェブサイト

募集・イベント



令和7年度（令和8年4月1日
付け採用）

大熊町職員採用候 補者試験



■試験職種・資格等

●任期付職員（一般事務）

要普通自動車運転免許

●任期付職員（土木）

要普通自動車運転免許、民間企業等で土木関係の設計・積算・施工管理等に関する職務経験を2年以上有する方

●任期付職員（保健師）

要普通自動車運転免許、保健師免許を有する方または令和8年3月末までに取得見込みの方

〈共通〉

■受付期間

11月4日（火）から11月28日（金）
の間の平日（午前8時30分～午後5時15分）

郵送の場合は、11月26日（水）までの消印があるものに限り受け付けます。

申履歴書（市販様式）に必要事項を記入して、大熊町役場総務課に提出してください。

郵送の場合は、封筒の表に赤で「職員試験申込」と書いて、必ず簡易書留で送付してください。

試験の詳細は、町ホームページをご覧ください。

■採用予定数

若干名

■年齢要件・学歴

不問

■選考方法

●第1次選考／書類選考（選考通

過者に第2次選考の案内をします）

●第2次選考／個別面接

時12月22日（月）実施予定

場大熊町役場 2階大会議室

問総務課 行政係

0240(23)7569

大熊町立認定こども園

学び舎ゆめの森

令和8年度4月

入園のご案内



■入園日

令和8年4月1日（水）（2号認定、3号認定）

令和8年4月上旬（1号認定）

※決定次第お知らせします。

■募集期間

11月1日（土）～12月15日（月）

■提出書類

QRコードでホームページをご確認ください。

■注意

入園の可否は、令和8年1月上旬頃にお知らせします。申込内容に不明な点がある場合、町から連絡することがありますので、ご了承ください。

問教育総務課 こども教育係

0240(23)7193

大熊町文化団体連 合会への加入団体 を募集します



東日本大震災以降、活動休止していた大熊町文化団体連合会が活動を再開し、新規団体を募集します。加入すると、一部公共施設の使用料が減免となります。（9月現在での加入団体は、ホームページでご確認ください。）

■活動内容

①文化団体相互の連絡調整を図る会議

②町教育委員会、県文団連等関係団体と共同で主催する各種文化事業（県芸術祭、町文化展、芸能発表会など）

※平成22年度時点で、町文団連へ加入していた団体で継続加入を希望される場合は、生涯学習課までご連絡ください。

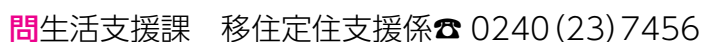
申・問生涯学習課 社会教育係

0240(23)7194

※現地申込・見学会は予約制ではありません。会場へ直接お越しください。

12月20日(土) 午前10時~正午

町へ資料を請求し、ご確認の上お申し込みください。



多目的ホール

野上・下野上・熊地区の一部

問 農業振興課 農業員会事務局

☎
0
2
4
0
(23
7
1
3
7



成果の一端として、江戸時代に宿場町として栄えた「熊町宿」の歴史を本講座で学んでみませんか。

12月16日(火)

問生涯學習課
社会教育係

0240(23)7194

ふるさとふくしま交 流会を開催します



首都圏に避難している皆さま、ぜひお誘いあわせのうえ、ご参加ください。詳細はQRコードから。

時 11月15日(土)午後2時～4時

場 東京国際フォーラム ホールD
5(東京都千代田区丸の内3丁目5-1)

対 東日本大震災により首都圏に避難している方

費 無料

申 必要

期 11月10日(月)

問 医療ネットワーク支援センター

☎ 03(6911)0582

大熊町関東大交流会 2025開催決定！



今年は、屋形船晴海屋でお楽しみ交流会のほか、町の復興状況についての説明会などを企画しています。皆さまお誘い合わせのうえご参加ください。関東圏に避難されている大熊町民の皆さまにお会いできるのを楽しみにしています。

時 12月7日(日)

午前11時 JR両国駅西口集合

申 必要。詳細はQRコードから。

期 11月20日(木)午後3時

問 おおくままちづくり公社

☎ 090(2952)5939

秋の坂下ダム ウォーキングイベ ント開催決定！



ウォーキングイベントの他、ミニゲームや豚汁・焼き魚などの振る舞いをご用意する予定です。内容や申し込み方法などは、QRコードから。お楽しみに！

時 11月22日(土)

午前9時30分受け付け、10時開始

■集合

linkる大熊前広場

問 おおくまコミュニティづくり実行委員会事務局

☎ 090(2952)5939



スマートフォン 教室を開催します



スマホ(スマートフォン)を使いたいけど使えるか不安な方、スマホを持っているがイマイチ使い方が分からない方へのスマホ教室を開催します。ぜひご参加ください。

内 基本操作、インターネットの使用方法、音声入力、便利なアプリの紹介など

時 ①12月2日(火)

午後1時30分～3時30分

②12月3日(水)

午前10時～正午

場 ①大熊町役場 いわき出張所

②大熊町役場 本庁舎

定 各20人

※参加人数によっては中止になる場合があります。

持 筆記用具(メモ用)

費 無料

申 11月20日(木)までに電話で

問 生涯学習課 社会教育係

☎ 0240(23)7194

福島広域雇用促進支援協議 会から

●行くしかない!!

働きたいネットの就職

面接会



【参加無料・履歴書不要・服装自由】
短時間でたくさんの企業の情報収集ができる♪就活が一步前進!

時 11月27日(木)

午後1時30分～3時

場 双葉町産業交流センター
(双葉町中野字高田1番地1)

■参加企業

相双地域等の企業13社

企業の詳細はホームページをご

覧ください。

申 電話、ホームページから予約ま

たは当日参加。予約がオススめで

す。詳細は「働きたいネット」で検

索!

※本面接会は「求職活動実績」にな

ります。雇用保険受給者の方には

参加証明書を発行します。

問 福島広域雇用促進支援協議会

福島統括窓口

☎ 024(524)2121

Happy Isl and 浜通りアー ツ2026開催



アーティスト石井竜也氏と本プロジェクトの実行委員長吉村作治と共にアート作品を創っていく参加型のプロジェクトで、ごなたでも参加いただける芸術文化祭です。
時10月1日(水)～令和8年3月11日(水)
場CREVAおおくま 大熊インキュベーションセンター
 ※2026年8月以降、浜通り各所で今回の創作アート作品が展示されます。
費1口500円～

詳細は、ホームページをご確認ください。

申QRコードから

■申し込み期限・参加募集およびアート作品投稿期間

10月1日(水)～令和8年3月11日(水)

✉info.happylslandhamadoori.com

こおりやまふれあい 祭りが開催されます



内手芸品、木工品等の展示・販売、ワークショップなど

時11月29日(土)

午前10時～午後3時

場ビッグパレットふくしま 一階多目的展示ホール

問特定非営利活動法人コースター

☎024(983)1157



おおくま町物語 伝承の会



内まち物語コンサート田村市公演唄と舞踊の共演(第1・3部)／田村市の昔話と「絵おと芝居」

時11月23日(日・祝)

午前10時30分開場／11時開演

場田村市文化センター

問代表 橘秀人

☎090(5352)2576

大熊町いわき会



内花の寄せ植え会

時11月18日(火)午前10時

場いわき市泉公民館

(いわき市泉町4丁目13-11)

費1000円

申必要

定20人

問宮本明

☎090(5188)8163

大和久地区



内親善ゴルフコンペ

参加を希望の方は事前に申し込みください。詳細は申し込み時にお伝えします。

時11月29日(土)

場小名浜オーシャンゴルフクラブ

(いわき市泉町下川大畑17)

期11月7日(金)まで

問吉岡正三

☎090(4478)3204

問斎藤浩征

☎090(9631)1268

こらんしょ大熊



内こらんしょ大熊最後の忘年会

時12月1日(月)

午前10時30分集合

場ダイオー本店

(福島市下野寺薬師堂後4)

費2000円

定12人

期11月10日(月)

問菅野佳代子

☎080(6038)9219

おおくまいわき 友の会



内いきいき健康教室

時11月17日(月)午前10時～正午

場いわき市鹿島公民館(いわき市

鹿島町走熊鬼越83-1)

費300円

定30人

期11月10日(月)

問奥山和枝

☎090(5234)2467

問伊東光子

☎090(3645)2765

町区



①内ゴルフ交流会

時 11月9日(日)

西コース 午前9時31分開始

場 バイロンネルソソカントリー

クラブ(いわき市渡辺町上釜戸

子繋130-2)

費 5000円

期 11月3日(月・祝)まで

②内パークゴルフ交流会

時 11月30日(日)午前10時集合

場 広野町二ツ沼総合公園パーク

ゴルフ場(広野町下北迫字大谷

地原65-3)

期 11月25日(火)まで

問 加藤直人

☎ 090(2975)4423

熊1〜3区



内パークゴルフ絆交流会

時 11月24日(月・祝)

午前8時30分受け付け

場 広野町二ツ沼総合公園パークゴ

ルフ場(広野町下北迫字大谷地原

65-3)

対熊1〜3区の方

期 11月14日(金)まで

費 1000円

(保険、プレー費、弁当代込み)

問 佐久間住夫

☎ 090(7934)0047

問 中原文男

☎ 090(4040)6673

問 鈴木文雄

☎ 080(3178)9793

クローバークラブ



内つまみ細工を使ったしめ縄作り

時 11月21日(金)午前9時30分

場 中通り連絡事務所 第一会議室

費 2000円

持 ペンチ、ピンセット、ハサミ

期 11月7日(金)まで

申・問 阿部

☎ 090(6259)7933

お知らせ



大熊町住民意向調査 にご協力ください



町は、復興庁、福島県と共同で町民の皆さまから帰町のご意向や今後の生活環境に関するご意見をお伺いし、今後のまちづくりの参考とするために令和7年度住民意向調査を行います。

回答をお願いする方に、11月初めに調査票を郵送しますので、ご協力をよろしく願います。

本調査についてご不明な点は、「住民意向調査」問い合わせセンターへお問い合わせください。

■調査票提出期限・オンライン回答期限
11月18日(火)

■回答をお願いする方

震災発生時、町に住民登録されていた世帯(避難後に転出された世帯を含む)にお送りします。分散して避難されている場合はそれぞれの避難先にお送りしますので、避難先の代表者がご回答ください。

問復興庁「住民意向調査」問い合わせセンター

☎ 0120(990)917

(フリーダイヤル)

■設置期間

11月5日(水)〜11月18日(火)

平日午前10時〜午後5時

問企画調整課 企画調整係

☎ 0244(23)7584

令和7年度個人事業税(2期)納税通知を発送します



個人で事業を営まれている方で、個人事業税の課税対象の方に、8月に納税通知書を発付しています。2期分については、11月10日(月)に、納税のお知らせを発送する予定です。

なお、税務署へ所得税の確定申告書を提出された時期等により、納期が異なる場合があります。

期 12月1日(月)まで

問福島県相双地方振興局県税部課

税課事業税チーム

☎ 0244(26)1126

マイナ免許証に関する注意事項



■マイナンバーカード更新後の免許情報引継ぎについて

次の場合にはマイナ免許証の再記録を希望しても免許情報の引き継ぎがされません。
「マイナ免許証のみ」所持の方は免許不携帯となってしまいますので、警察署等でのマイナ免許証手続きが必要です。詳しくは最寄りの警察署、運転免許センターへお問い合わせください。

1. マイナンバーカード

更新申請後、カードを受け取るまでの間に、転出・転入・転居・氏変更などをした場合

2. 名前や住所などの情報に、外字が含まれている場合

3. 警察庁での確認の結果、処理対象外とされた場合

The image displays three examples of the 'マイナンバーカード更新申請書' (My Number Card Renewal Application Form). Each form includes fields for personal information, contact details, and a section for license information transfer. The first two examples show the '有' (Yes) option selected, indicating a request for license information transfer. The third example shows the '無' (No) option selected, indicating no request for transfer.

マイナンバーカードの受け取りの際は、市区町村から届いた「**交付通知書**」に「**免許情報／運転経歴情報記録：有**」の記載があることを**必ず確認**してください。
「**無**」と記載されている場合や「**免許情報／運転経歴情報記録**」欄が印字されていない場合は、新たに発行されたマイナンバーカードには**免許情報等の記録が行われていません**ので、運転免許センター等において免許情報等の書き込みを行う必要があります。

■町外に避難されている方のマイナンバーカードの手続きについて

町外に避難されている方のマイナンバーカードに関する手続きは、避難先の役所を経由して行うことができますが、**即日の手続きは出来ません**。

一旦マイナンバーカードを避難先の役所にお預けいただき、大熊町で手続きを行った後に書留郵便でお戻しするため、**マイナンバーカードを所持できない期間が一定期間生じます**。

マイナ免許証のみの方は、その間、免許不携帯となってしまいますので、各種手続きに大熊町役場(出張所・連絡事務所を含む)に来庁できない方は、運転免許証を所持してください。

問住民税務課 住民係 ☎ 0240(23)7146

年末調整説明会が 開催されます



相馬税務署は、相双法人会との共催で、次のとおり「年末調整説明会」を開催します。

時11月10日(月)

午後1時30分～4時

場相馬市総合福祉センター はま

なす館(相馬市小泉高池357)

時11月20日(木)

午後1時30分～3時30分

場富岡町文化交流センター学びの

森(富岡町本岡王塚622-1)

期11月4日(火)

定あり。申し込み先に問い合わせ

ください。

申・問必要。公益社団法人 相双

法人会まで

0244(36)5754

問相馬税務署法人課税第一部門

0244(36)3942

証明書のコンビニ 交付サービスを一 時停止します



住民記録システム標準化に伴い、

マイナンバーカードを用いたコンビニエンスストアでのすべての証明書の交付を一時停止します。

避難先の自治体での広域交付対象の証明書等の取得は可能です。

ご理解とご協力をお願いします。

■停止期間

11月3日(月・祝)午後11時～18

日(火)午前6時30分

問住民税務課 住民係

0244(23)7146

「住民票の写し」等 の様式が変更にな ります



11月4日から、国の定めた標準仕様に合わせた住民記録システムへの変更に伴い、住民票の写し(除票)、住民票記載事項証明書、印鑑登録証明書の様式が変更になります。

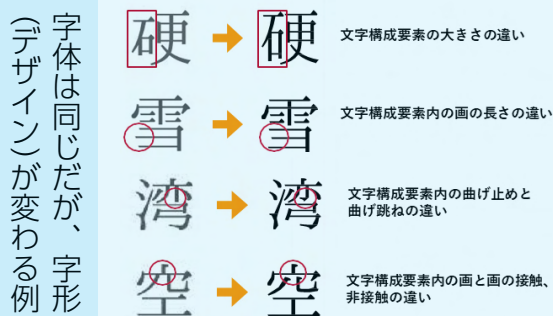
■住民票の写し等の主な変更点

世帯一部の住民票(個人票)が、A4横からA4縦に変わります。世帯全員の住民票(連記式)は、1枚に世帯員5人まで記載されていたものが、4人へ変わります。

住民票等に使用されている 文字が変わる場合があります

国は、全国の自治体の主な業務で取り扱うシステムの統一・標準化を進めており、その一環として町の業務システムで使用する文字を11月4日から「行政事務標準文字」に変更します。

部首の大きさ、曲げはねの違い、一部の長さの違いなど、デザインの差(「字形」の違い)の範囲内で変わる場合があります。漢字の骨組み(「字体」の違い)は変わりません。



問住民税務課 住民係 0240(23)7146

■印鑑登録証明書の変更点

性別欄が省略されます。

問住民税務課 住民係

0244(23)7146

おおくま駅伝20 25を開催します



子どもたちや大人たちが元気に

身体を動かしながら交流する場と

し、町民や参加者の心身の健康増

進を図るとともに、大熊町に人々

が集まることで地域の活性化を図るため、おおくま駅伝2025を開催します。

大会情報については、町ホームページで随時更新します。

大会当日は交通規制等がありますので、町ホームページをご確認ください。

時12月21日(日)

場学び舎ゆめの森

問生涯学習課 スポーツ振興係

0244(23)7518

高齢者福祉サービスを ご活用ください



町は、高齢者の生活を支えるため、さまざまなサービスを行っています。ご利用方法等はお気軽にご相談ください。ただし、申請行為のためさかのぼって支給対象とはなりませんのでご注意ください。それぞれ利用できる対象者が異なりますので担当課へご連絡ください。

■在宅老人介護用品給付事業（おむつ券）

■要介護高齢者介護慰労手当支給事業

■緊急通報システム設置事業

■在宅寝たきり高齢者等の訪問理髪サービス事業

■大熊町認知症高齢者等個人賠償責任保険事業

問福祉課 介護保険係
0240(23)7226

年金記録を確認しましょう



11月30日は「年金の日」です。こ

の機会に、「年金ネット」を活用して年金記録や将来の年金受給見込額を確認してみませんか。

「ねんきんネット」については、日本年金機構ホームページでご確認いただくか、お近くの年金事務所にお問い合わせください。

問健康保険課 国保年金係
0240(23)7143

富岡町移動図書館 車が巡回します



時11月12日（水）

午前10時40分～11時10分

場ほっと大熊東側駐車場

■利用カード登録ができる方

◎双葉郡内に住民票がある方、通勤・通学している方。

◎住所・氏名を確認できる書類（健康保険証、運転免許証など）をお持ちください。

問生涯学習課 社会教育係

0240(23)7194

問富岡町図書館

0240(21)3665

基盤整備工事に伴う11月の通行止め箇所について



下野上地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設事業の基盤整備工事および、道路等工事のため通行止めを行っています。通行の際は、現地の案内看板等のご確認をお願いします。

■11月の通行止め箇所図



問 UR 都市機構 東北震災復興支援本部 大熊復興支援事務所
0246(38)8127
問復興事業課 建設係
0240(23)7019

大野病院の南西部交差点の 環状交差点(ラウンドアバウト)が通行可能となりました



※車両の通行する部分が環状(ドーナツ状)の信号機のない交差点で、道路標識により車両がその部分を『時計回りに通行』することが指定されている交差点のことです。

■環状交差点の交通ルール

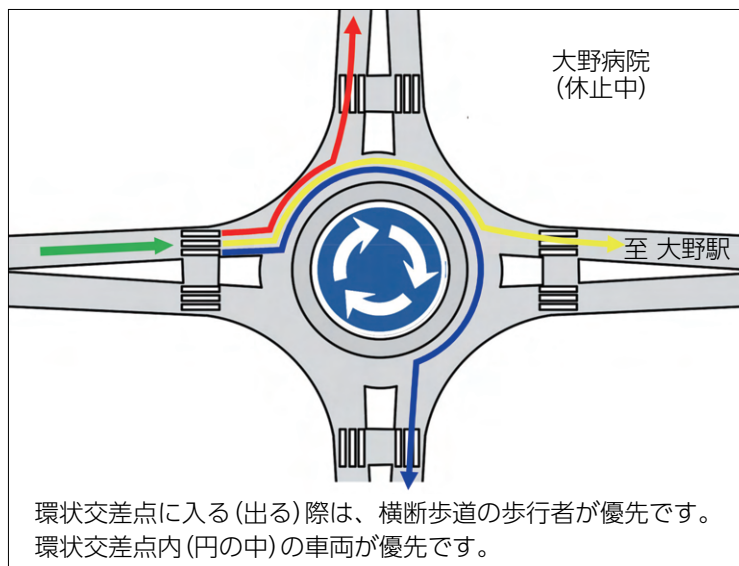
交差点に入るとき「左折」

- ・徐行または一旦停止して左折
※右折できません
- ・歩行者に注意

交差点を出るとき「左折」

- ・左ウィンカーを出して左折
- ・歩行者に注意

問復興事業課 建設係
☎ 0240(23)7019



町チームへの応援をお願いします！



第37回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)が11月16日(日)に開催されます。白河市陸上競技場から福島県庁までの16区間96.3km(工事により一部走路が変更となります。)を県内の各市町村チームがタスキをつなぎます。

■時間 午前7時40分スタート

■コース

1区	4.0km	午前7時40分	白河市陸上競技場(スタート)
2区	8.2km	午前7時53分	サンフレッシュ白河・大沼体育館前
3区	5.8km	午前8時18分	泉崎さつき公園前
4区	7.3km	午前8時35分	矢吹町役場内
5区	6.4km	午前8時58分	鏡石町・鳥見山陸上競技場内
6区	8.3km	午前9時17分	須賀川市役所内
7区	5.4km	午前9時43分	郡山市ゼノアック日本全業工業内
8区	4.1km	午前9時59分	郡山市・郡山ヒロセ開成山陸上競技場東側
9区	3.0km	午前10時12分	郡山市福島県立郡山北工業高校内
10区	10.6km	午前10時23分	郡山市・こどもの森公園入り口前
11区	3.9km	午前10時54分	本宮市・白岩屋商店前
12区	7.0km	午前11時7分	大玉村・イイジマ前
13区	4.8km	午前11時28分	二本松市役所内
14区	5.7km	午前11時43分	二本松市安達支所内
15区	3.4km	午後12時1分	福島市松陵中学校前
16区	8.4km	午後12時12分	福島大学入口
		午後12時38分	福島県庁前(ゴール)

■大熊町チームのメンバー

(五十音順)

監督	渡辺 誠一	
コーチ	吉田 充芳	渡辺 隆弘
主将	柳田 学徳	
選手	尾内 優希	大山さくら
	奥山 翔琉	奥山 陽織
	佐藤 優奈	島田 風花
	蛸井 光	中里 光星
	長島 秀樹	森 暁彦
	柳田 明德	柳田 学徳
	柳田 文徳	山口 和弘
	横山 幸哉	吉田 充芳
	吉田 好孝	渡辺 誠一
	渡辺 隆弘	渡辺 結羽

問生涯学習課 スポーツ振興係
☎ 0240(23)7194

大野駅東口駐車場の工事が完了しました



下野上地区一団地の復興再生拠点市街地形成事業の基盤整備工事と道路工事のため駐車禁止としていました、大野駅東口駐車場の造成工事が完了し、利用できるようになりました。

代替駐車場は、原状回復工事のため、工事期間中は立入禁止となります。

駅東口駐車場の利用再開に伴い、代替駐車場へ移転していたカーシェア用小型EV車の配置場所も東口駐車場へ戻りましたのでご利用の際はご注意ください。

長期間のご協力ありがとうございました。



■駐車場に関すること

問総務課 管財係 ☎ 0240 (23) 7579

■カーシェアに関すること

問生活支援課 生活支援係 ☎ 0240 (23) 7444

特定帰還居住区域復興再生計画変更のための説明会を開催します



令和5年6月、福島復興再生特別措置法の改正により、避難指示解除による住民の帰還および帰還後の生活再建を目指す「特定帰還居住区域」の設定が可能となりました。町はこの制度を活用し、令和5年9月に「大熊町特定帰還居住区域復興再生計画」が国に認定され、令和6年2月に計画の変更により区域を拡大しております。

この度、残る帰還困難区域(中間貯蔵施設区域を除く)に関しても、避難指示解除を目指し、計画の変更を行います。つきましては、本制度の概要説明ならびに対象となる範囲等について、ご意見をお伺いするため、次のとおり説明会を開催しますのでご参加ください。

問企画調整課 ☎ 0240 (23) 7584

■対象行政区

野上1・2区、下野上1区、熊1・2・3区
町区、熊川区、夫沢2・3区

■説明会日程

開催日時		開催場所
11月23日 (日・祝)	午前9時30分	アピオスペース 展示ホール (会津若松市インター西90)
	午後2時30分	ビッグパレットふくしま3階 中会議室(郡山市南二丁目52)
11月24日 (月・休)	午前9時30分	いわき新舞子ハイツ 多目的ホール (いわき市平下高久南谷地16-4)
	午後2時30分	linkる大熊 多目的ホール (大熊町大川原南平1207-1)

※本説明会の対象者は、特定帰還居住区域復興再生計画の対象区域の方です。対象の方には個別に通知をお送りします。

※本説明会は町政懇談会ではございません。予約不要のため、直接ご来場ください。

※ご来場に係る交通費や駐車場料金の支給はありませんのでご了承ください。

健康



ノルディック ウォーキング



時 11月19日(水)

午前10時から正午まで

場 保健センター

定 15人

申 事前にご連絡ください

問 福祉課 介護保険係

☎ 0240(23)7226

いきいき百彩クラブ



①内 温泉ソムリエによるお風呂の

入り方教室

時 11月12日(水)

午前10時～11時30分

場 linkる大熊 第一研修室

申 11月7日(金)までに電話で

持 飲み物

②内 季節のお飾り作り

時 12月10日(水)

午前10時～午後1時30分

場 大熊町保健センター

申 12月5日(金)まで電話で

費 材料費500円

〈共通〉

定 各回15人

対 大熊町民の方

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

保健センター

開放日



赤ちゃんから高齢者の方まで、幅広い世代が集う場として、また、お散歩の途中の寄り道や休憩場所としてもお気軽にお立ち寄りください。

お茶コーナーのほか、おもちゃや絵本、健康に関する情報を設置しています。健康相談・介護や認知症・栄養相談もできます。

※保健センター前で生活循環バスも停車します。

時 11月27日(木)、12月25日(木)

午前9時～午後4時まで

場 大熊町保健センター

(下野上字金谷平565)

内 ◎移動図書／午前10時～正午

◎いちごカフェ／午後1時30分

～3時30分

特別企画

①内 離乳食教室

時 11月27日(木)

午前10時～11時30分

対 生後4か月～1歳のお子さん

と保護者

費 無料

持 エプロン、三角巾

申 必要

②内 冬休み企画(予定)

時 12月25日(木)

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

子育て



子育てひろば



①内 自由遊び、身長体重測定、個別相談

時 11月25日(火)

申 電話で3日前までに

申 電話で3日前までに

②内 ベビーマッサージ、身長体重測定、個別相談

時 12月23日(火)

申 電話で1週間前までに

〈共通〉

不動産利活用、地域コミュニティをサポート！
特産品「帰忘郷」販売中！

おおくままちづくり公社の最新情報はこちら▶



- 不動産利活用登録募集
- okuma store (EC サイト)
- 復興支援員募集中！

詳細は右 QR コードよりご確認くださいご応募ください。



問 おおくままちづくり公社

☎ 0240(23)7101 (平日午前9時～午後5時)

時 午前9時30分～11時30分
場 大熊町役場 いわき出張所
定 親子5組
対 未就学児と保護者(祖父母も可)
持 飲み物、おむつ、バスタオル
※体重測定希望の方・おむつ交換の際は、ご自身でバスタオルをお持ちください。
問 健康保険課 保健衛生係
☎ 0240(23)7419

インフルエンザ予防接種の費用を助成します



インフルエンザ予防接種について、高齢者とお子さんに対して次のとおり予防接種費用の助成を行います。

今年度は流行入りが各地で早めです。年末にかけて感染報告の増加が懸念されます。抗体が十分にできるまでには接種後約2週間かかるため、早めの接種が大切です。

季節性(高齢者)インフルエンザ

(原則、自己負担なし)

■対象者(該当する方に個別通知しました)

- ・接種日に年齢が65歳以上の希望者
- ・60歳以上65歳未満の方で心臓やじん臓・呼吸器に重い病気のある方の希望者、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)により免疫機能に障がいがある方の希望者(障がい者手帳1級程度の方)

■接種対象期間

10月1日(水)～令和8年1月31日(土)

■接種回数

年1回

■料金

無料

■接種場所

各医療機関(接種の際は必ず予約を入れてください。)

■接種方法

【県内】

医療機関に直接予約し、お送りした予診票を持参して接種してください。

※医療機関によって開始時期が異なりますので、電話等でご確認のうえ接種してください。

【県外】

・避難先市区町村の予防接種担当課に連絡して、手続きをしてください。

・自己負担が発生した場合は、接種料金を還付します。その場合は、助成申請書・領収書(原本)・予診票(コピー)の3点を提出してください。助成の申請手続きは接種終了後、1か月以内に行ってください。

小児インフルエンザ

(接種時は自己負担で、後日還付)

■対象者

生後6か月～中学校3年生まで

■接種対象期間

10月1日(水)～令和8年1月31日(土)まで

■助成回数

- ・6か月～13歳未満→2回接種分
(2回接種する方は、2回分まとめて申請してください。)
- ・13歳以上～中学3年生→1回接種分

■接種場所

各医療機関(必ず予約のうえ接種してください。)

■持ち物

母子(親子)健康手帳、保険証、診察券

■その他

予診票は医療機関の予診票をお使いください。

■申請方法

- ・助成申請書は、健康保険課、各出張所・連絡事務所に備えつけてあります(ホームページからダウンロードすることもできます。)

- ・予防接種費用を一度自己負担し、その後助成申請書・領収書(原本)・予診票(コピー)または母子健康手帳のコピー(接種日が記載されている部分)の3点を提出してください。

※助成の申請手続きは、接種終了後すみやかに行ってください。

問健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

新型コロナウイルス定期予防接種のご案内



定期接種を希望の方は、次の内容で接種できます。

※任意接種(全額自己負担)の方は、接種時期や回数の指定はありません。

■対象者(該当する方に個別通知しました)

- ・接種日に年齢が65歳以上の希望者
- ・60歳以上65歳未満の方で心臓やじん臓・呼吸器に重い病気のある方の希望者、ヒト免疫不全ウイルス(HIV)により免疫機能に障がいがある方の希望者(障がい者手帳1級程度の方)

■接種対象期間

10月1日(水)～令和8年1月31日(土)

■接種回数

年1回

■接種場所

各医療機関(接種の際は必ず予約を入れてください。)

■接種方法

【県内】

医療機関に直接予約し、お送りした予診票を持参して接種してください。

※医療機関によって開始時期が異なりますので、電話などでご確認のうえ接種してください。

【県外】

・避難先市区町村の予防接種担当課に連絡して、手続きをしてください。

・4,500円以上の自己負担が発生した場合は、接種料金を還付します。その場合は、助成申請書・領収書(原本)・予診票(コピー)の3点を提出してください。助成の申請手続きは接種終了後、1か月以内に行ってください。

■料金

対象者は4,500円の自己負担がかかります。

※生活保護受給者は無料で接種することができます。

■その他

医師が認めた場合は、他のワクチンとの同時接種が可能です。ご希望の方は医師へご相談ください。

問 健康保険課 保健衛生係

☎ 0240(23)7419

町診療所でインフルエンザワクチン予防接種と 新型コロナウイルスワクチン予防接種が受けられます



町診療所でインフルエンザおよび新型コロナウイルスワクチンの予防接種を実施します。予約制のため接種を希望の際はご連絡ください。(混み具合によっては、接種希望日を変更していただく場合があります。)

場 大熊町診療所

時 毎週火・木曜日(祝日・年末年始を除く)午前8時45分～11時30分

持 保険証を忘れずにお持ちください。

高齢者の方：予診票(町から9月末に送付しました)、小児の方：母子(親子)健康手帳

問・予約 健康保険課 保健衛生係 ☎ 0240(23)7419

大熊町診療所 ☎ 0240(23)7170

今年も大熊町と連携して町の健康診断会場に出張窓口を設置します

健康診断を受診されない方でもご利用できます。

ADR センターホームページに掲載しているチラシ (広報おおくま 10月号同封) は右 QR コードからご覧ください。



実施日時	ADR 受付時間	実施会場
11月11日(火)	午前8時30分～正午	パレスいわや(いわき市)
11月17日(月)	午前9時～午後0時30分	ビッグパレットふくしま(郡山市)
11月25日(火)・26日(水)	午前8時30分～11時30分	アピオスペース(会津若松市)

平日夜間・土曜窓口を開設します

詳しい予約方法等は右 QR コードからご覧ください



通常の窓口に加え、無料で弁護士等と話せる平日夜間・土曜窓口を開設します。その場で申し立ても可能です。

■開設日時 ①12月6日(土)午後1時～5時／②令和8年1月7日(水)午後4時～8時

■予約受付期間(土日・休日を除きます)

①11月4日(火)～11月25日(火)／②12月1日(月)～12月25日(木)

ご予約は電話で。☎024-941-0164 (予約電話受付 平日午前10時～午後4時)

■利用方法 ①福島事務所へ来所(郡山駅東口徒歩5分)、**予約優先制**

②自宅等から電話・オンライン (Zoom)、**完全予約制(先着順)**

問原子力損害賠償紛争解決センター

☎0120-377-155 (年末年始を除く平日午前10時～午後5時)

消防署から

問富岡消防署 予防係 ☎0240(22)2119

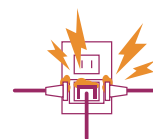
秋季全国火災予防運動

11月9日(日)～15日(土)

住宅火災の
出火原因
トップ3

①こんろ ②たばこ ③電気機器

(総務省消防庁「令和6年における火災の状況(概算)」より)



電気器具類による火災が増加！！

電気器具類とは、電源プラグ、電源タップ、リチウム電池(ボタン電池など)、充電式電池(モバイルバッテリーなど)などを言います。

リチウム電池(ボタン電池など)を処分する時は、絶縁テープを電池の(+)部分と(-)部分に貼り絶縁処理を行ってください。電池同士の接触により、放電して発火する恐れがあります。

充電式電池(モバイルバッテリーなど)は、落下による大きな衝撃や水没などが原因で出火する恐れがあります。異常を確認した場合は使用をやめましょう。

10年を目安に 交換しましょう！！

住宅用火災警報器を交換する場合、電池のみを交換するのではなく、機器ごとの交換を推奨しています。



教えて すこやかライフ

通いの場のご紹介

大熊町の「通いの場」は
こちらから▶



人生会議とは…自分がこれからどう
生きたいか、希望を話し合うこと、
年齢に関係なく、自分の気持ちを伝
える機会です。

介護のギモン – サルコペニアとフレイルの違いは何？ –

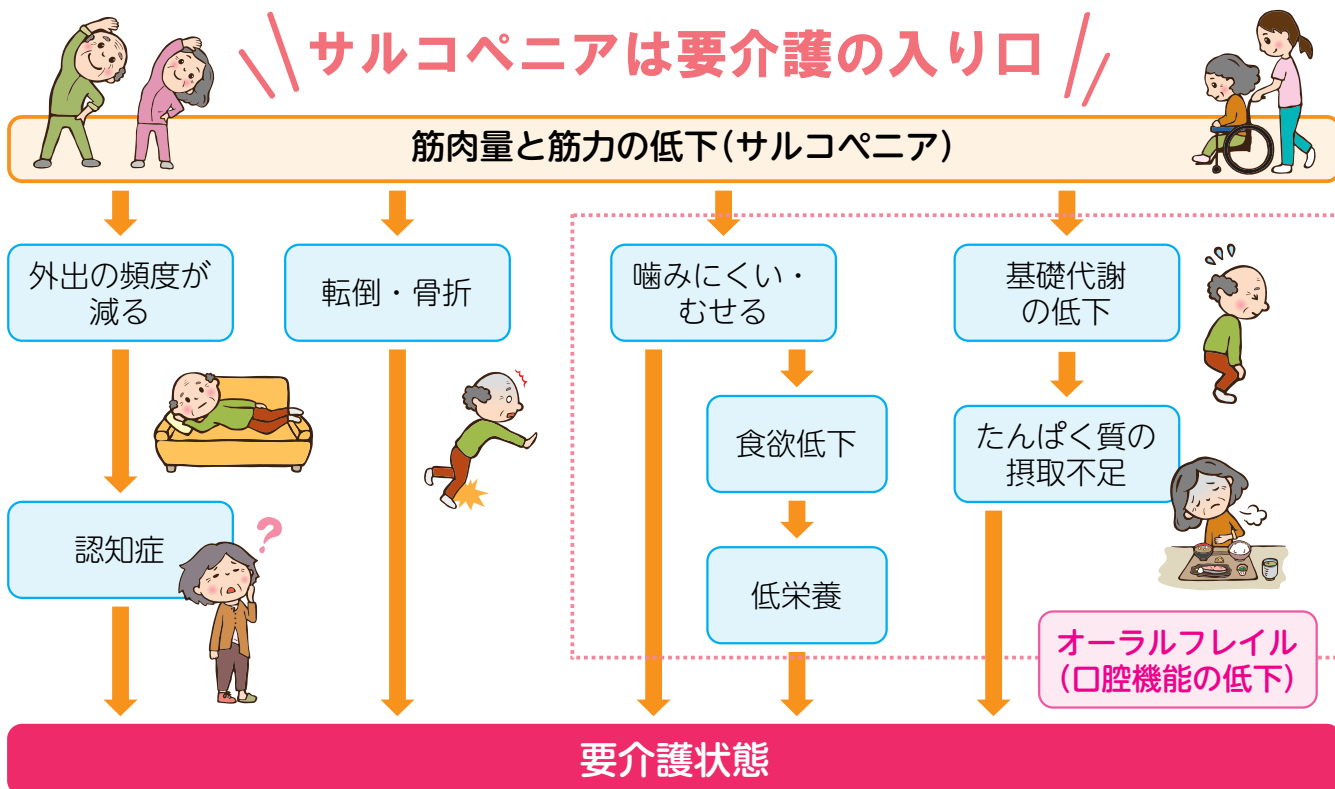
「最近疲れやすくて、体を動かすのがおっくうだな…」そんなときに疑われるのが、フレイルやサルコペニアです。

サルコペニアは、筋肉量の減少や筋力の低下、身体能力の低下が起きている状態のこと。

また、フレイルは、加齢によって筋力や活力が低下した“虚弱状態”を指します。身体能力の低下だけでなく、精神的、社会生活面にも衰えがみられるのが特徴です。

この2つの関係は、フレイルの中にサルコペニアが存在するというイメージです。つまり、サルコペニアはフレイルの要素のひとつなんです。

サルコペニアを放っておくと、筋肉がさらに衰えて活動性が低下し、人との交流や外出の機会が減る恐れもあります。結果として、サルコペニアがフレイルの引き金となり、いずれは要介護状態になってしまう場合もあります。



予防には運動と栄養が重要ですが、いずれも継続しなければ効果を持続させることはできません。運動や良い食事の習慣を生活の一部に含め、習慣化させることが重要になります。ご自身にとって取り組みやすい内容から始めてみましょう。

いつでもお越しください～保健センター～

健康づくりの拠点として、赤ちゃんから高齢者まで、幅広い年代の方に利用されていた保健センターが再開してしています。同じ目的で再開した唯一の施設のため、震災前を知る人からは、「とても懐かしい」「ホッとする」などの声が多く聞かれています。

また、初めて訪れた方も施設の設備がとても素敵だと、繰り返し利用してくださる方も増えています。

今回は、保健センター開放日の様子をお伝えします。

みんなでスポーツ

卓球、太極拳、
ボッチャ……
白熱しました！



司書さんとおはなし会



読み聞かせの
時間は
みんな真剣です。

ホッと一息



カフェコーナーでお茶を
飲みながらお話。
楽しい一時です。

おもちゃもいっぱい！



この日はおもちゃを
レンタルしました。
赤ちゃんも大興奮です！

子ども達と
食改さんで
マフィンを
作りました！

夏休みのおやつ作り



職員は常駐していませんが、開放日だけでなく、乳幼児健診や総合健診、料理教室や運動教室などの保健事業も行っています。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

母子健康手帳交付希望の皆さまへご妊娠おめでとうございます

大熊町こども家庭センター**おおくまっこ**は、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援のため母子健康手帳の交付時に、保健師等の専門職が妊婦さんの体調や心配事のお話をうかがいます。

母子健康手帳交付希望の方は日程調整をしますので本庁舎・各出張所にご連絡ください。



子育て支援アプリ
「すくすく♡おおくまっこby母子モ」





柏崎 佑哉
(公認心理師)



松永 妃都美
(保健師)



折田 真紀子
(保健師)

教えて おおちゃん 放射性物質



何かと疑問の多い放射性物質について、長崎大学の専門家の皆さんが解説します。

私たち長崎大学は、大熊町での復興支援活動の一環として毎月「放射線と健康」をテーマとした連載を掲載しています。

大熊町は、食品摂取による内部被ばくを予防するため、主に自家消費食品を対象とした放射能検査を実施しています。大熊町内での検査は2020年度から実施されており、今回のコラムでは2020年度から2024年度までに実施された検査結果についてご紹介します。

食品の検査結果を集計するにあたり、食品は「野菜」「果物」「穀類」「いも類」「その他」の5つのグループに分類しました。なお、山菜やきのこ、野生動物の肉といった日常的に摂取することを想定しない食品は、今回の集計から除外しています。上記に分類される食品は、5年間で「野菜」が117件、「果物」が137件、「穀類」が45件、「いも類」が39件、「その他(はちみつや加工品)」が27件、合計で365件が検査されました。

図1は食品グループ別の放射能の検出割合、図2は検査された年度の放射能の検出割合です。食品グループは、野菜や穀類、いも類と比較すると、果物やその他の食品が放射性セシウムを検出する割合が高いことがわかります。また、年度別では2020年、2023年が他の年に比べ、基準値以上の検出割合がやや高い結果でした。これは2019年、2022年に町内の避難指示が解除されたことに伴って、解除区域周辺で採取された食品が積極的に検査されたためではないかと考えられます。この5年間で検出率の大きな変動は見られませんでした。セシウム137の半減期は30年と長期にわたることから、今後も検査結果の動向を観察する必要があるといえます。

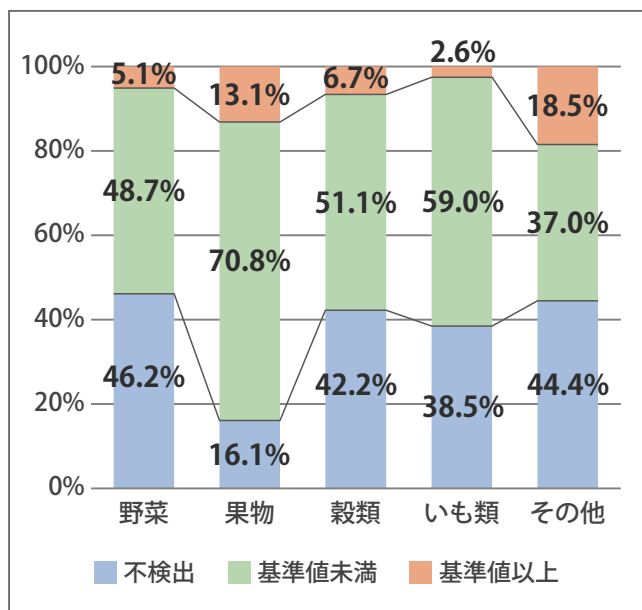


図1 食品グループ別の放射性セシウム検出率

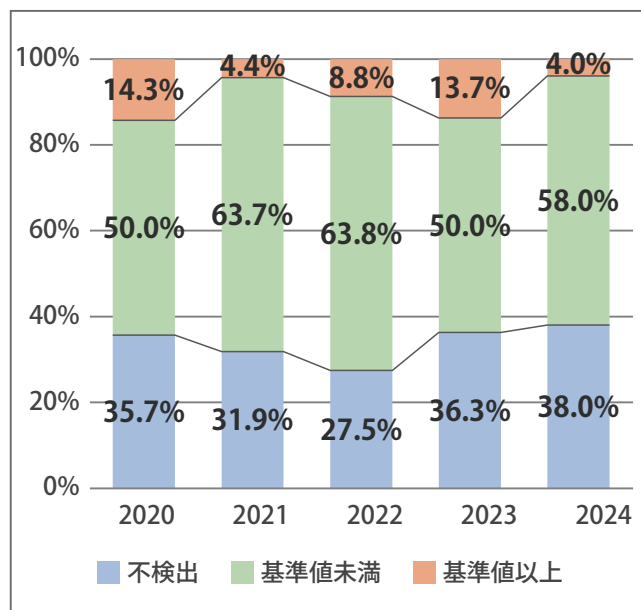


図2 検査年度別の放射性セシウム検出率

※不検出：機械で測定できる限界値を下回る，基準値：1kgあたり100ベクレル以上

長崎大学は、放射線被ばくと健康についてのご相談をいつでもお待ちしております。大熊町役場健康保険課（☎ 0240-23-7419）を通じてお気軽にお問い合わせください。

福島地方環境事務所からのお知らせ

● 特定帰還居住区域での被災家屋等の解体申請

環境省では、特定帰還居住区域(下野上1区、野上1区・2区、熊1区～3区、熊川区、町区、夫沢2区・3区の各一部)およびその周辺に位置する家屋等の解体の申請を受け付けています。解体を希望される場合は、解体申請受付窓口にご相談ください。

※所有建物の住所が区域範囲内か確認したい方は解体申請受付窓口までお問い合わせください。

※環境省が除染した家屋等は解体の対象にはなりません。解体の意向がある場合は、解体前に家屋等の除染を希望しないでください。ただし、過去に特定復興再生拠点区域外縁として家屋を除染し、現在は特定帰還

居住区域内にある家屋等については、解体対象となる場合もあります。所有建物が解体対象となるか確認したい方は、解体申請受付窓口までお問い合わせください。

■解体申請受付窓口(環境省業務委託業者)

高島テクノロジーセンター

(いわき市好間町上好間山下6-1)

☎ 0120-700-908

(平日午前8時30分～午後5時15分)

● 特定帰還居住区域での個別回収受付

環境省は、特定帰還居住区域(下野上1区、野上1区・2区、熊1区～3区、熊川区、町区、夫沢2区・3区の各一部)に住居がある方を対象に、粗大ごみ等の個別回収の申し込みを受け付けています。また、東京電力が住居内の片付け、ごみサポート等も実施しています。希望される場合は、お申し込みください。

なお、粗大ごみ等の個別回収の際にフレコンバックが必要となる場合は、お申し込みの際にお知らせください。

※特定復興再生拠点区域の個別回収受付は、令和5年6月30日をもって締め切りました。

■申し込み窓口

大熊町片付けごみサポートセンター
(環境省業務委託業者)

☎ 0120-50-8832

(平日午前9時～午後5時)

問 福島地方環境事務所 浜通り南支所
(廃棄物担当)

☎ 0240-25-8993

(平日午前8時30分～午後5時15分)

● モニタリングのご案内

特定復興再生拠点区域で帰還を検討されている方で、敷地内の放射線量が気になる方は、線量測定を行いますのでご連絡ください。

問 福島地方環境事務所 浜通り南支所(除染担当)

☎ 0240-25-8993

(平日午前8時30分～午後5時15分)

● 除染作業事前調査の実施について

環境省は、特定復興再生拠点区域内と特定帰還居住区域内の除染工事を進めています。除染等工事に必要となる事前調査等業務を行いますので、対象となる方にご案内を送付します。所有する敷地内へ調査立ち入りさせていただくことに、ご理解とご協力をお願いします。(本調査業務の際に建物内へ立ち入ることはありません。敷地内の調査を望まれない方は、ご連絡ください。)

問 日本エヌ・ユー・エス株式会社
(環境省業務受託業者)

☎ 0120(395)080

(平日午前8時30分～午後5時15分)

● 中間貯蔵施設の見学会を開催しています

中間貯蔵事業情報センターは、中間貯蔵施設をバスで巡る見学会を開催しています。参加を希望される方は、お申し込みください。

時 11月14日(金)・15日(土)

■申し込み窓口

中間貯蔵事業情報センター

☎ 0240-25-8377

問 福島地方環境事務所 中間貯蔵部中間貯蔵総括課

☎ 024-563-1293

おおくま



Photo News



700人の
サイクリストが
町内を疾走！

9月6日、ツール・ド・ふくしま 2025 が開催され県内外からサイクリストが浜通りに集結。高低差の激しい山道をものともせず颯爽とコースを駆け抜けました。

各 種 問 い 合 わ せ 先

(記載のない市外局番は0240です)

ゼロカーボン

町ゼロカーボン補助金制度事務局

☎0120-978-820

医療・福祉

町診療所

☎23-7170

ふたば医療センター付属病院

☎23-5090

町社会福祉協議会

☎23-5171

教育

認定こども園 学び舎ゆめの森

☎23-4462

義務教育学校 学び舎ゆめの森

☎23-5341

移住・定住・帰還支援

町移住定住支援センター

☎23-7103

おおくままちづくり公社

☎23-7101

商工・観光・交流

町観光協会

☎23-7101

町インキュベーションセンター

☎23-7721

町商工会

☎23-7380

交流施設 linkる大熊

☎23-7676

宿泊温泉施設ほっと大熊

☎23-5767

郵便

大熊郵便局

☎32-2222

警察・消防

双葉警察署

☎22-2121 (緊急通報 110)

富岡消防署

☎22-2119 (緊急通報 119)

災害情報専用テレホンサービス

☎26-0366

電気

東北電力コールセンター

☎0120-066-774

ガス

福島県 LP ガス協会 相双支部

☎0244-22-1141

上水道

双葉地方水道企業団

☎25-5323

(下水道は町役場復興事業課)

電話

NTT 東日本相談申し込みダイヤル

☎116

ごみ

双葉地方広域市町村圏組合

南部衛生センター

☎25-4609

除染・中間貯蔵施設

除染と中間貯蔵施設に関する問い合わせ窓口

☎0120-027-582

一時立ち入りコールセンター

☎0120-220-788



こんにちは赤ちゃん

こどもの名	親の名	住 所
半 澤 咲 茉	怜 ・ 美 鈴	古 館
千 葉 彪 雅	美紀夫 ・ たか子	中央台



ご結婚おめでとう

花むこ	住 所	花よめ	住 所
沖 野 昇 平	清 水	遠 藤 綾 夏	大 野
三 瓶 大 斗	新 町	青 木 梓	新 町



おくやみ申し上げます

死亡者名	年 齢	住 所
目 黒 弘 信	67 歳	大 野
黒 田 孝 行	74 歳	大 野
高 橋 カネヨ	88 歳	旭 台
佐々木 久 子	95 歳	新 町
安 部 禮 子	91 歳	東大和久
前 司 耕 臣	69 歳	大

令和7年9月届出

広報はホームページでも ご覧いただけます。

広報おくまは町ホームページでも公開しています。
パソコンやスマートフォンからも町の情報をご覧いただけますのでぜひご活用ください。

大熊町 HP



Facebook



Instagram



問大熊町役場 総務課 秘書広聴係

編集後記

人が生活する上で不可欠な要素である「衣食住」。震災後、町に不足していたピースがもう少しで1つ埋まります。
買い物環境の改善として、震災後の各種アンケートなどでも回答の多かった食料品スーパーの建設がこのたび始まりました。「夕飯は何にしようかな」「お弁当で〇〇が食べたい」といった会話が聞こえる日が待ち遠しいですね。(梅田)

人のうごき

令和7年9月末現在

住民基本台帳

人 口 9,850人

世帯数 4,172世帯

町内居住者数

人 口 1,499人

(うち帰還者321人)



居住地ごとの状況は町ホームページをご覧ください。

町内の空間線量

(令和7年10月15日午前9時現在)

町内で空間線量を測定しているモニタリングポストの数値をお知らせします。

表は避難指示が解除された区域に設置している機器を抜粋して掲載しています。

町全体のデータは、町環境測定サイネージ、町ホームページからご確認ください。

測定地点名		空間放射線量 (μ Sv/h)
中屋敷集会施設		0.10
大熊町役場		0.08
福島給食センター		0.13
やすらぎ霊園		0.06
野上二区地区集会所		0.51 *
インキュベーションセンター (旧大野小学校)		0.12
大熊町保健センター		0.26
大野駅		0.13
大熊町文化センター		0.28
旭台公園		0.33
学び舎ゆめの森		0.12
大和久区地区集会所		0.35 *
町区集落センター		0.46
参 考	いわき市役所	0.07
	郡山市役所	0.07
	会津若松市役所 (追手町第二庁舎)	0.04

※機器調整中のため直近の計測データを記載しています (令和7年6月10日午後3時時点)

